
お手軽 600字エッセイ その3

北原誠二

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お手軽600字エッセイ その3

【NZコード】

N1715D

【作者名】

北原誠一

【あらすじ】

うーん。人類は進歩してきたのだろうか？

時々、人類は進歩してるのだろうかと考へる」とことがあります。

世は変わり、物が変わつても人間のこころはつとも進歩してないのかかもしれない。

そんなことを考へることはありませんか。

これは10年以上前いや、20年ぐらい前かもしません。そのころにマザーテレサが残した言葉です。

私たち忙しそうです
ほほえみを交わすひまさえ
ありません
ましてや 愛を『えたり
受けたりするひまはない』といつ
状態です。

どう思われますか？

そんなに昔のことを感じないでしょうか？

経済、効率それは確かに必要なことだと思います。
仕事が忙しい、勉強が忙しい。人類は忙しく発展してきたと思います。

しかし、それは物質的なことです。

いつの時代も心は変わらないかもしませんね。

先の見えない時代、サバイバルの時代と呼ばれていますが、そう考えるとそんなに絶望しなくともいいかもしません。

えー！マザーテレサは天才だから20年前でもそれが分かつたんだつ

て。

でも、今の日本じゃ勝ち組ならぬとのたれ死んじゃうよー・スピードの時代だよ。スピード。

そんな意見もよく耳にすることがあります。

でも日本人でもそれを気がついていた人もいます。

夏目漱石です。

版権も切れているほど古い作品ですがこんなのもあります。

「草枕」です。

引用するところな感じです。

(本文) 山路を登りながら、こう考えた。

智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。

住みにくさが高じると、安い所へ引き越したくなる。どこへ越しても住みにくくと悟つた時、詩が生れて、画が出来る。

(北原訳)

知能を働かせて働けばけんかになり、感情に左右されれば行く道を失う。維持を張つて戦いつづければ苦しくなる。とにかく人の世は住みにくい。

住みにくさが高じるといい仕事を見つけて安くて楽などこに生きたくなる。どこへいっても

そんなに変わらないと分かつたとき詩を書いたり絵が描きたくなる。

(本文) 人の世を作ったものは神でもなければ鬼でもない。やはり向う三軒両隣りにちらちらするただの人である。ただの人が作った人の世が住みにくいからとて、越す国はあるまい。あれば人でなしの国へ行くばかりだ。人でなしの国は人の世よりもなお住みにくく

るつ。

(北原訳)

人が作ったものは神でも亡ければ鬼でもないよ。ただの人間、がこの世の中を作った。（良いと思って）だから天国に行つたって、地獄へいったって今よりも住みにくいかかもしれないよ。

やつぱり天才はいるものですね。

これは1906年に出版されたそうです。

これを読んだつて世の中はあんまり変わつていないでしょ。

時代が悪い、タイミングが悪い。景気が悪い。

それは今に始まつたことではないです。

悪い、悪いといつていても、きっと人類はそんなに進歩しないでしょう。

不安があるより、この世界を楽しませんか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1715d/>

お手軽600字エッセイ その3

2011年1月26日10時37分発行